

＜調査結果の分析＞

3回のモニターツアーの参加者は、男女比：男性 56%・女性 44%、年齢：20代 3%・30代 12%・40代 20%、50代 50%、60代 9%、お住まい：東京 41%・神奈川 6%、山梨 56%でした。

ご参加者はモニターツアーを目的に今回峡東を訪問された方々ばかりで非常に熱心にアンケートをご記入いただいた方々が多かったです。

今回は、参加対象者を『ワインに造詣が深く、峡東地域の葡萄畑に理解がある「ワインツーリズムやまなし」に参加経験のある方』とした事もあり、「峡東地域のワインやワインツーリズム、葡萄畑に関心があったから」の回答が、「日本遺産に認定された構成文化財に興味があったから」を大幅に上回りました。

「周遊ルートを巡ることにより、葡萄畑や地域の歴史・文化、ワインの魅力を感じることができましたか。」については、100%「できた」の回答をいただいております、訪問したスポットについても「峡東地域のワインやワインツーリズム、葡萄畑に関心があった」ご参加者にとって、ガイドさんとともに巡り、各所でのご説明があった事により理解度が増し、満足度が上がったと考えられます。

そして、葡萄畑の風景とともに峡東地域の歴史や文化が感じられることが非常に印象に残ること、「周遊ルートに追加した方が良い部分」については、「農産物直売所」、「カフェ」、「食事処」などの回答が多く、風景や歴史を感じながら、食事やワインを楽しみ、お買い物をしたいというご希望が多いこともわかりました。

「山梨県峡東地域が日本遺産に認定されたこと」については 7割近い方々が「知らなかった」と回答しており、まだまだ認知度が低いようです。

「日本遺産峡東地域をより多くの方に訪れていただき、周遊していただくために必要なこと」は意見が分かれ、男性からは「二次交通の充実」が、女性からは「ホームページ等での観光スポットのPR」、「ルートガイド・パンフレットの充実」が多くありました。

＜周遊ルートの設定及びガイドマップ制作への提言＞

今回のモニターツアーでは半日ルートで設定し、勝沼の2コースでは約 2.5km～3km が徒歩となりましたが、ご参加者の様子を見させていただく中でガイド付で歩くのにちょうど良く周遊ルート設定の目安となります。

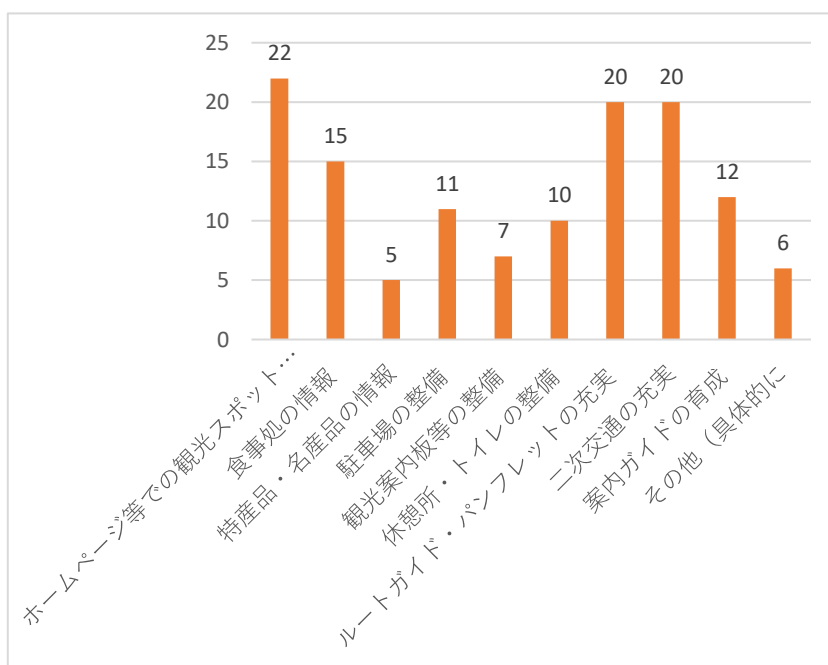
また、今回のルートでは整備されていない部分もありましたが、アンケートでの意見もあった通り、ガイドマップに掲載していくルートについては構成文化財の整備や説明板の設置、英語などの多言語にも対応できる音声ガイドについても検討していく必要があると思います。

ガイドマップ制作については、ワイナリー、カフェ、食事処、買い物スポット、トイレ、ベンチの場所なども記載し、そのルートの距離感がわかり、駅からルートのスタート地点やその後の移動手段として二次交通情報の集約し、さらにガイドなしで自分でまわる方向けにマップ上からホームページやQRコードでのリンクやマップ、ルートの裏面等に詳しい解説の記載があると良いかと思います。その上で『日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」をめぐる』方々が増えるよう熊野古道を語り部と歩くようにガイドとまわるような仕組みやガイドツアーの企画も検討していくべきだと思います。

(3)日本遺産峡東地域をより多くの方に訪れていただき、周遊していただくためには、何が必要だと感じますか。

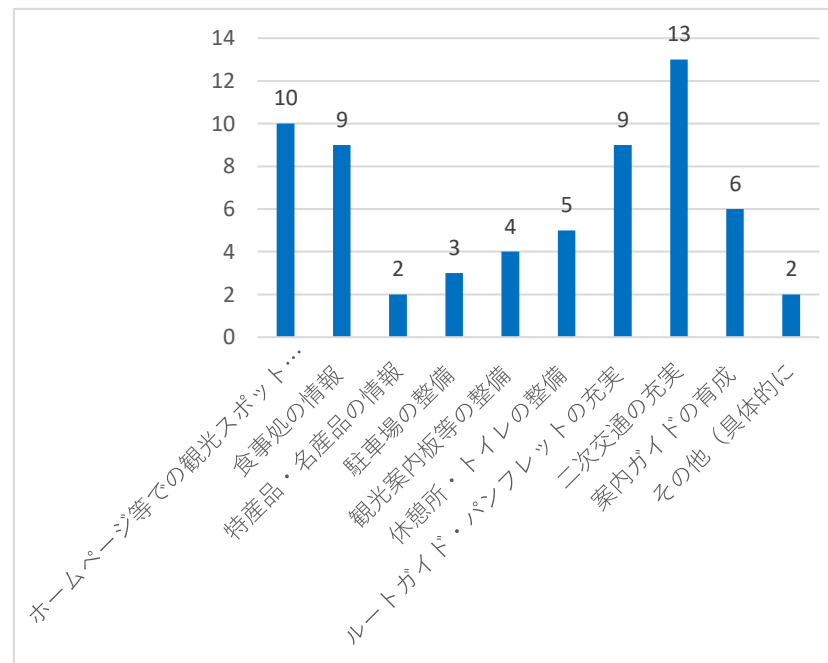
【3コース合計：男女】

ホームページ等での観光スポットのPR 22
 食事処の情報 15
 特産品・名産品の情報 5
 駐車場の整備 11
 観光案内板等の整備 7
 休憩所・トイレの整備 10
 ルートガイド・パンフレットの充実 20
 二次交通の充実 20
 案内ガイドの育成 12
 その他(具体的に 6



【3コース合計：男性】

ホームページ等での観光スポットのPR 10
 食事処の情報 9
 特産品・名産品の情報 2
 駐車場の整備 3
 観光案内板等の整備 4
 休憩所・トイレの整備 5
 ルートガイド・パンフレットの充実 9
 二次交通の充実 13
 案内ガイドの育成 6
 その他(具体的に 2



【3コース合計：女性】

ホームページ等での観光スポットのPR 11
 食事処の情報 4
 特産品・名産品の情報 3
 駐車場の整備 3
 観光案内板等の整備 7
 休憩所・トイレの整備 5
 ルートガイド・パンフレットの充実 10
 二次交通の充実 7
 案内ガイドの育成 5
 その他(具体的に 5

